

ワクチン接種が普遍化した時代における免疫不全を有する COVID-19 患者の SARS-CoV-2 排出期間に関する後ろ向き観察研究

研究へのご協力をお願い

当院では、最新の(最善の)医療を患者さんに提供するとともに、より良い治療法や診断法などを開発するための臨床研究を行っています。患者さんに参加していただいて、治療方法や診断方法が有効であるか、あるいは安全であるかを調べることを臨床研究といいます。

研究の背景

免疫抑制状態にある患者さんが新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に罹患すると、健常人よりも長期間(平均 20 日間)ウイルスを排出し続けると報告されています。ただこれは COVID-19 流行初期のデータであり、ワクチン接種や抗ウイルス療法が普及した現在でも同様なのかは不明です。

本研究は、ワクチン接種が普及した現在において免疫抑制状態で COVID-19 に罹患した患者さんのウイルスを排出する期間を調査します。

本研究について

この研究は、2022 年 11 月から 2023 年 3 月までに当院で COVID-19 のために入院した患者さんを対象とします。対象となる患者さんの臨床所見、検査データを収集し、免疫抑制状態にあり隔離解除前に抗原検査を複数回受けられた方を対象とします。過去のデータを収集するため、本研究に参加することで新たに治療・検査が追加されることはありません。

この研究で得られた情報により、免疫抑制状態の COVID-19 患者の適切な隔離期間が明らかになることが期待されます。

研究の参加はあなたの自由意志を尊重します

「ご自身のデータを使用されたくない」と思われたときには、あなたのデータを除外しますので以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

プライバシーの保護について

この研究で得られた情報は、医学雑誌などで公表されることがありますが、お名前や個人的な情報は一切わからないようにいたします。また研究中のデータに関しても、外部に漏れないように厳重に管理いたします。

お問い合わせ先について

この研究についてわからないことや、聞きたいこと、またなにかご心配なことがありましたら、いつでも遠慮なく担当医師におたずねください。

また、病気や怪我などで他の治療を受ける時、より詳細な研究の計画、研究の方法についてお知りになりたいときにも、担当医師までご連絡ください。なお、この研究に参加している方の個人情報や、研究の知的財産などには、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

【お問い合わせ先】

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 呼吸器内科

〒612-8555

京都府京都市伏見区深草向畑町 1-1

TEL: 075-641-9161

研究責任者:呼吸器内科 医師 金井 修